

地域課題解決のための検討

<p>地域課題</p> <p>担い手が不足している。</p>	
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サポーターや運転ボランティアを募集しても集まらない ・ボランティア自身が高齢化している（70代後半から80代前半が中心） ・一人の担い手が様々な支援を担っている ・新しい人材が集まらない ・定年延長が一般化し、仕事を持つ人が増えている ・独居や高齢者のみの世帯が増加してますます担い手の支援を必要としている人が増えている ・ご近所付き合いで支援できているケースもあるが地域によってはご近所付き合いがないところもある ・ボランティアがいる地域、いない地域といった地域差がある ・アンケート等を行うとボランティアをしてみたい人が多いが、実際ボランティアをする人は少ない 	
解決案	左記に必要な支援
<p>個人でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人を誘って一緒にボランティア養成講座を受講する ・勇気を持って申し込む ・日頃からご近所付き合いを積極的に行う ・自治会や地域の集まりに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の募集をわかりやすくする ・参加しやすい日時でボランティア養成講座を開催する ・ご近所付き合いのマッチング（望む人に地域の人を紹介） ・ご近所と仲良くするリストを作成し配布
<p>地域、事業所の取り組みでできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの友愛活動の場を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの活動とニーズのマッチングを支援する

※公的サービス化、制度化の検討が必要なこと

- ・ ボランティアに興味がある人たちがボランティア活動を始めない理由やどんなものなら始められるかを把握する

- ・ ボランティアニーズの把握をする